

### Ⅲ 基準ごとの自己評価

#### 基準1 高等専門学校の目的

##### (1) 観点ごとの分析

観点1-1-①： 高等専門学校の目的が、それぞれの学校の個性や特色に応じて明確に定められ、その内容が、学校教育法第115条に規定された、高等専門学校一般に求められる目的に適合するものであるか。また、学科及び専攻科ごとの目的も明確に定められているか。

(観点に係る状況)

本校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的に昭和40年に創立された。創造性豊かな実践的開発型の技術者になるために必要なものづくり教育と、地元密着型の産官学共同研究を積極的に進めており、これらを通して地域社会のみならず国際社会で活躍できる技術者の養成を図っている。その使命を果たすために、学則第1条に本校の目的を明確に定め(資料1-1-①-1)、これを核にして平成23年1月に「福井工業高等専門学校の基本理念等に関する規則」を制定(資料1-1-①-2)し、本校の基本理念、教育方針、養成すべき人材像、本科(準学士課程)と専攻科課程における学習・教育目標、一般科目教室・各学科・各専攻の目的を定めている。

資料1-1-①-1

「福井工業高等専門学校学則」

#### 第1章 本校の目的

第1条 本校は、教育基本法、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。

2 本校は、その目的を実現するための教育を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。

3 本校は、教育研究の成果の普及及び活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況を公表するものとする

第1条の2 本校の基本理念、教育方針、学習・教育目標及び学科・専攻ごとの人材の育成に関する目的その他の教育上の目的については、別に定める。

(出典 本校規則集)

資料1-1-①-2

「福井工業高等専門学校の基本理念等に関する規則」

#### 第1章 基本理念

第1条 本校の基本理念は、次のとおりとする。

- (1) 創造性豊かな人材を育成する。
- (2) 幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う。
- (3) 高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う。
- (4) 環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う。
- (5) 地域と連携した産官学共同研究の推進を図る。

## 第2章 教育方針

第2条 本校の教育方針は、次のとおりとする。

- (1) 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる。
- (2) 個性を伸長し、独創的能力の開発に努力する。
- (3) 教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する。
- (4) 健康の増進に努め、身体的精神的に強じんな耐久力を育成する。
- (5) 規律ある日常生活に徹し、明朗、かつ達な資性のかん養を図る。

## 第3章 学習・教育目標

第3条 本校の本科（準学士課程）の学習・教育目標は、次のとおりとする。

- (1) 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- (2) 数学とその他の自然科学、及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。
- (3) 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。
- (4) 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- (5) 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

第4条 本校の専攻科の学習・教育目標は、次のとおりとする。

- (1) 地球的視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- (2) 数学とその他の自然科学、情報処理、及び異なる技術分野を含む問題にも対処できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける。
- (3) 技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける。
- (4) 国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- (5) 実践的能力及び論理的思考能力を総合的に身に付ける。

## 第4章 人材の育成に関する目的その他の教育上の目的

第5条 本校の一般科目教室及び各学科の人材の育成に関する目的その他の教育上の目的（以下「目的」という。）は、次のとおりとする。

- (1) 一般科目教室は、高度な技術教育の基盤となる学力を身に付け、豊かな教養と知性を持つ社会人を育成する。
- (2) 機械工学科は、機械システムの開発・設計・生産の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (3) 電気電子工学科は、通信・エレクトロニクス、情報・制御、光・電子デバイス、エネルギー等の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (4) 電子情報工学科は、情報化社会の基盤となるソフトウェア、コンピュータネットワーク及びコンピュータ制御の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (5) 物質工学科は、材料工学あるいは生物工学の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。
- (6) 環境都市工学科は、社会資本を持続可能にする土木・建築の分野において、基礎的知識と技術を身に付け、論理的思考能力を備えた実践的で創造性豊かな技術者を育成する。

第6条 本校の専攻科の専攻ごとの目的は、次のとおりとする。

- (1) 生産システム工学専攻は、高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、機械・設計関連、システム制御関連、電子・物性関連及び情報・通信関連分野の知識を広く教授し、これらを有機的に統合した生産システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者を育成する。
- (2) 環境システム工学専攻は、高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、構造・材料関連、生物・化学関連、環境・分析関連及び防災・都市システム関連分野の知識を広く教授し、これらを有機的に統合した環境システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者を育成する。

第7条 本校の養成すべき人材像は、次のとおりとする。

優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会で活躍できる技術者

(出典 本校規則集)

また平成23年度には、本科(準学士課程)と専攻科課程におけるそれぞれ5つの大項目からなる「学習・教育目標」をより理解しやすくするために、各大項目を具体化した小項目を再設定した。すなわち、本科については11の小項目(資料1-1-①-3)を、また専攻科については20の小項目(資料1-1-①-4)を各大項目に対応して設けた。

さらに、以上の各学習・教育目標と、一般科目教室・各学科・各専攻における開講科目との対応関係は(資料1-1-①-5)に示すように明確であり、各小項目や大項目に配置された開講科目を習得することによってその学習・教育目標が達成できたことを、平成22年度より学生自らが学習達成度評価シート(資料1-1-①-6)に1回/1年の頻度で定期的にチェックを入れることで確認している。

本科では、一般科目教室と各学科において学年毎に「目指す能力」、「達成目標」そして「到達目標例」(資料1-1-①-7)もシラバスに記載し、学生の能力育成と向上の一助としている。

「本科（準学士課程）の学習・教育目標」

**RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。**

- 1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。
- 2 様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持てる。

**RB 数学とその他の自然科学、及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。**

- 1 数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。
- 2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。

**RC 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。**

- 1 課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。

**RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。**

- 1 英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。
- 2 日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。
- 3 わかりやすい図表等を作成し、それをを用いて日本語により効果的な説明ができる。

**RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。**

- 1 実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。
- 2 課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。
- 3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。

(出典 平成24年度学生便覧)

「専攻科課程の学習・教育目標」

**JA 地球的視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。**

- 1 異なる地域に属する人々がもつ文化や、それに根ざした価値観などを多面的に認識できる。
- 2 持続可能な地球社会を構築するという目的意識のもと、種々の分野における人間の活動や文明が地球環境に与える影響について理解できる。
- 3 技術者が社会に対して負うべき責任を明確に自覚したうえで、工学に関する学術団体が規定している倫理綱領を理解し、説明できる。

**JB 数学とその他の自然科学、情報処理、及び異なる技術分野を含む問題にも対処できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける。**

- 1 工学的諸問題に対処する際に必要な、数学とその他の自然科学に関する知識を理解できる。
- 2 工学的諸問題に対処する際に必要な、情報処理に関する基礎知識を理解できる。
- 3 得意とする専門技術分野を持つことに加え、他の技術分野を積極的に吸収して、持続可能な社会の構築を意識したものづくりのプロセスに対応できる。

**JC 技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける。**

- 1 構造物または製品を設計する際に、複数の技術分野についても意識しながら、つくる目的を理解し、機能性・安全性及び経済性に加えて、環境負荷の低減・快適性などを考慮できる。
- 2 新しく出会った課題について、自ら問題点を発見しようとする意識を持ち、既知の事柄と未知の事柄とを識別したうえで、それらを蓄積・整理できる。
- 3 既成概念にとらわれない創造性豊かな発想のもと、自分の専門分野以外の技術分野を含む課題について、多様な観点から検討・考察し、その結果を具体的に示せる。
- 4 異なる分野の人を含んだグループでの協議及び共同作業を通して、解決方法について複数の候補を見だし、その中から最も適切なものを選択できる。

**JD 国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける。**

- 1 英語による日常的な内容の文章や対話を理解でき、英語により自分の意見を適切に表現できる。
- 2 得意とする専門技術分野に関わる英語論文等の内容を日本語で説明できる。
- 3 自分の意見・主張などを、相手を意識した規範的な表現を用いて日本語の談話や文章で表現できる。
- 4 日本語による口頭発表や討議において、自らの報告・聴衆への対応・他者への質疑などを行える。
- 5 正確で分かりやすいグラフや図表を、必要に応じて用意できる。

**JE 実践的能力及び論理的思考能力を総合的に身に付ける。**

- 1 得意とする専門技術分野を含む複数の工学分野において、与えられた実験・演習課題の工学的意義を理解し、提示された方法を計画・実行することにより、定められた期限までに妥当な結果を導ける。
- 2 数学や情報処理の知識・技術を用いて、実験または数値シミュレーションの結果を統計的に処理し、その結果を評価して、対象としている工学的現象の成り立ち・仕組み等を理解し、説明できる。
- 3 技術者が経験する実務上の工学的な諸問題を認識し、それらを具体的に示せる。
- 4 自ら明確に設定した目標を達成するため、詳細な計画を立て、それに沿って継続して努力できる。
- 5 考察対象に関する見解を論理的に構築し、それに基づいた問題解決のための仮説を立て、適切な実験・解析方法を選択できる。

(出典 平成24年度学生便覧)

「学習・教育目標と開講科目の関係」

平成23年度本科(準学士課程)の学習・教育目標と科目の配置

機械工学科							
本科(準学士課程)							
大項目	小項目	1年	2年	3年	4年	5年	
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。	1	人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多面的に認識できる。	歴史、地理	歴史、倫理社会	政治経済	ドイツ語、中国語	法学、哲学、経済学、歴史学特講、ドイツ語、中国語
	2	様々な地域における芸術とそれに根ざした価値観を、認識・理解する意識を持つ。	音楽	美術			
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1	数学とその他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	基礎解析A、基礎解析B、物理、化学、生物	解析I、線形代数、物理、化学	解析II、数理統計学、工学基礎物理I、基礎数学、基礎物理	解析III、応用数学、工学基礎物理II	数学特講
	2	専門分野における基礎知識・技術に基づいて情報を処理し、工学的現象を正しく理解できる。	ものづくり科学、コンピュータ科学入門、製図	○言語基礎、機械工作実習、機械製図	○言語基礎、機械工作I、材料学I、電気工学、機械設計製図I	機械計算力学、機械設計法、材料力学II、工業力学、機構学II、熱力学II、電子工学、自動制御、生産技術演習、アイデア設計学、機械設計製図II	材料科学、流体機械、伝熱工学、電子応用、メカトロニクス、ロボット工学、システム工学、材料力学III、振動工学、自動制御、生産技術演習、アイデア設計学、機械設計製図III
RC 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。	1	課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決能力の重要性を認識できる。					創造工学演習 知能機械演習
	1	英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。				英語I、コミュニケーションI 英語II、コミュニケーションII	英語III 英語IV 英語V、英語特講
	2	日本語の文章や言語作品を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや主張を適切に日本語の談話や文章で表現できる。				国語 国語	国語、日本語I、日本語II 国語表現、日本語III 国語講読、日本語IV、卒業研究
RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	3	わかりやすい図表等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。					卒業研究
	1	実験・調査などの経験を通してデータの解析法を学び、理論との比較や考察などができる。					機械工学実験I 機械工学実験II
	2	課題の背景を理解し、習得した知識を生かして適切な方法を選んで実験・調査などを遂行し、データを解析・考察することにより、結果を客観的に説明できる。					卒業研究
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。	3	身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。					保健体育 保健体育 保健体育 保健体育

(出典 平成24年度シラバス, p. M-01~M02)

「学習達成度評価シート（抜粋）」

# 学習達成度評価シート

平成 年度入学  
 機 械 工 学 科  
 学籍番号  
 氏 名

## 福井工業高等専門学校

機械工学科 学習達成度評価シート

大項目	小項目	1年		2年		3年		4年		5年		全学年 平均点
		科目	点數	科目	点數	科目	点數	科目	点數	科目	点數	
RA 多様な文化や価値観を認識し、自己の行動に反映させる能力を身に付ける。	1 人間社会の基本的な仕組みを理解し、様々な地域の言語や歴史・伝統などの文化を多角的に認識できる。	<input type="checkbox"/> 歴史 ( )		<input type="checkbox"/> 歴史 ( )		<input type="checkbox"/> 政治経済 ( )		<input type="checkbox"/> ドイツ語* ( )		<input type="checkbox"/> 法学 ( )		
	2 様々な地域における芸術とそれに提示した価値観を、認識・理解する能力を身に付ける。	<input type="checkbox"/> 地理 ( )		<input type="checkbox"/> 倫理社会 ( )		<input type="checkbox"/> 中国語* ( )		<input type="checkbox"/> 経済学* ( )		<input type="checkbox"/> 歴史学特講* ( )		
RB 数学その他の自然科学分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。	1 数学その他の自然科学に関する基礎知識を理解できる。	<input type="checkbox"/> 音楽 ( )		<input type="checkbox"/> 美術 ( )				<input type="checkbox"/> 数学特講* ( )				
	2 専門分野における基礎知識・技術に基づいて、現象を説明し、工学的事象を正しく理解できる。	<input type="checkbox"/> 基礎解析A ( )		<input type="checkbox"/> 解析I ( )		<input type="checkbox"/> 解析II ( )		<input type="checkbox"/> 解析III ( )		<input type="checkbox"/> 数学特講* ( )		
RC 授業中に必要なデザインポイントを身に付ける。	1 課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を提案して課題解決能力の重要性を認識できる。	<input type="checkbox"/> 基礎解析B ( )		<input type="checkbox"/> 線形代数 ( )		<input type="checkbox"/> 数理統計学 ( )		<input type="checkbox"/> 応用数学 ( )				
	2 日本語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。	<input type="checkbox"/> 物理 ( )		<input type="checkbox"/> 物理 ( )		<input type="checkbox"/> 工学基礎物理I ( )		<input type="checkbox"/> 工学基礎物理II ( )				
RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	1 日本語の文章や音韻・品語を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや生活感を適切に日本語の話し言葉や文章で表現できる。	<input type="checkbox"/> 化学 ( )		<input type="checkbox"/> 化学 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎数学 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎物理 ( )				
	2 日本語の文章や音韻・品語を的確に理解・鑑賞でき、自分の思いや生活感を適切に日本語の話し言葉や文章で表現できる。	<input type="checkbox"/> 生物 ( )		<input type="checkbox"/> コンピュータ科学入門 ( )		<input type="checkbox"/> C言語基礎 ( )		<input type="checkbox"/> C言語応用 ( )		<input type="checkbox"/> 機械計算力学 ( )		<input type="checkbox"/> 生産技術演習 ( )
RE 実践的能力と自律的学習能力を身に付ける。	1 実践・調査などの経験を基に、課題を自ら設定し、適切な方法を選んで課題を解決し、データを解析・発表することにより、結果を客観的に説明できる。	<input type="checkbox"/> ものづくり科学 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 機械工作実習 ( )		<input type="checkbox"/> 機械工作法II ( )		<input type="checkbox"/> 機械設計製図II ( )		<input type="checkbox"/> 知能機械演習 ( )
	2 課題の背景を理解し、問題を発見し、適切な方法を選んで課題を解決し、データを解析・発表することにより、結果を客観的に説明できる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 機械工作法I ( )		<input type="checkbox"/> 機械設計製図I ( )		<input type="checkbox"/> 機械学 ( )		<input type="checkbox"/> アイデア設計工学 ( )
RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。	3 わかりやすい説明等を作成し、それを用いて日本語により効果的な説明ができる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 機械製図 ( )		<input type="checkbox"/> 材料学I ( )		<input type="checkbox"/> 機械設計法 ( )		<input type="checkbox"/> 実験工学 ( )
	3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を認識するために各々の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 材料学I ( )		<input type="checkbox"/> 材料学II ( )		<input type="checkbox"/> 材料力学 ( )		<input type="checkbox"/> 自動制御 ( )
RE 実践的能力と自律的学習能力を身に付ける。	1 実践・調査などの経験を基に、課題を自ら設定し、適切な方法を選んで課題を解決し、データを解析・発表することにより、結果を客観的に説明できる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 材料学II ( )		<input type="checkbox"/> 流れ学I ( )		<input type="checkbox"/> 熱力学 ( )		<input type="checkbox"/> 材料科学** ( )
	2 課題の背景を理解し、問題を発見し、適切な方法を選んで課題を解決し、データを解析・発表することにより、結果を客観的に説明できる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 材料学II ( )		<input type="checkbox"/> 流れ学II ( )		<input type="checkbox"/> 流体力学 ( )		<input type="checkbox"/> 材料力学** ( )
RE 実践的能力と自律的学習能力を身に付ける。	3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を認識するために各々の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 材料学II ( )		<input type="checkbox"/> 工業力学 ( )		<input type="checkbox"/> 電子工学 ( )		<input type="checkbox"/> 応用工学** ( )
	3 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を認識するために各々の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。	<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 基礎 ( )		<input type="checkbox"/> 材料学II ( )		<input type="checkbox"/> センサ工学 ( )		<input type="checkbox"/> 電子工学 ( )		<input type="checkbox"/> 機械工学** ( )
科目数	合計点											
平均点												

注意: 点數欄の ( ) 内に、良=3点、良=2点、可=1点、低減=0点として点數を記入

\*: 選択必修科目 \*\* : 選択科目

(出典 学生課)

「機械工学科における目指す能力，達成目標，到達目標例」

平成23年度

機械工学科  
豊かな創造力をもつ機械技術者の育成

【使命・基本方針・達成目標】機械工学科の使命は、ものづくりのための基礎的知識や技術を身に付けた創造性豊かな機械技術者を育成することである。基本方針として、(1)機械技術者として必要な基礎学力の育成、(2)技術革新・高度情報化社会に対応できる能力の育成、(3)創造性・実践的能力の育成および人間形成の育成、を掲げており、機械工学に関する知識・技術を習得することを達成目標としている。

学年	目指す能力	達成目標	到達目標例
5年	機械工学の専門的な知識を身に付けて、それらの問題を解決する能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自動制御」「振動工学」を修得すること。</li> <li>・「生産技術演習」「アイデア設計工学」「機械設計製図Ⅲ」「機械工学実験Ⅱ」を修得すること。</li> <li>・「卒業研究」に取り組むこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラプラス変換やマトリクス演算を理解し制御工学の演算に活用できること。</li> <li>・機械構造物における振動問題について理解できること。</li> <li>・生産技術における問題点と改善案についてプレゼンテーションできること。</li> <li>・自ら立案したプロジェクト計画案に基づいてものづくりができること。</li> <li>・研究を通して得られたデータの解析を行い、適切な論述による報告書の作成および口頭発表において、研究内容を正確に示すことができること。</li> </ul>
4年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「材料力学Ⅱ」「流れ学Ⅱ」「熱力学」「工業力学」「機械設計法」「機構学」を修得すること。</li> <li>・「センサ工学」「電子工学」「機械計算力学」を修得すること。</li> <li>・「機械設計製図Ⅱ」「知能機械演習」「機械工学実験Ⅰ」を修得すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流体の連続の式、ベルヌーイの式、運動量の法則に関連する基本的な問題が解けること。</li> <li>・熱効率の定義や熱力学第1・第2法則について説明できること。</li> <li>・機械要素や構造物に作用する力やモーメントについて理解できること。</li> <li>・機械要素（ねじ、軸、軸受、歯車など）の種類を理解し、安全設計に必要な計算ができること。また、リンク機構やカム機構について説明できること。</li> <li>・機械工学実験の結果を解析し、報告書を期限までに作成できること。</li> </ul>
3年	機械工学の基礎的な内容について理解し説明できる能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「材料力学Ⅰ」「流れ学Ⅰ」「機械工作法Ⅱ」「材料学Ⅱ」「電気工学」を修得すること。</li> <li>・「機械設計製図Ⅰ」「創造工学演習」「C言語応用」を修得すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な機械や構造物の応力や変形の解析力を習得すること。</li> <li>・流体の物性値、静力学に関連する基本的な問題が解けること。</li> <li>・溶接、切削・研削、特殊加工の各種加工法を説明できること。また、炭素鋼の状態図・熱処理・材料記号の知識を身につけること。</li> <li>・簡単な機械・器具の設計製図手法およびスケッチ製図手法を理解すること。</li> <li>・実際のハードウェアの動作を考慮したプログラミングができること。また、アイデア創出から製作品性能評価までの一連の過程を体験すること。</li> </ul>
2年		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「機械工作法Ⅰ」「材料学Ⅰ」を修得すること。</li> <li>・「機械工作実習」「機械製図」「C言語基礎」を修得すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋳造や塑性加工などの工作法の種類や特徴を説明できること。</li> <li>・金属の結晶構造や、基本状態図を説明できること。</li> <li>・旋盤・フライス盤などの工作機械の基本的操作法を習得すること。</li> <li>・JIS機械製図法を理解し、ボルト・ナット、豆ジャッキ、軸、歯車、Vベルトなどの機械要素を正しく製図できること。</li> <li>・C言語による簡単なプログラミングができること。</li> </ul>
1年	ものづくり、情報処理の基礎的な能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ものづくり科学」「コンピュータ科学入門」「製図」を修得すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各実験テーマについて、科学的に説明する報告書を作成できること。研究結果をプレゼンテーション発表し、研究内容を説明できること。</li> <li>・コンピュータのハードウェア、ソフトウェア及びネットワークの基本的な構成及び動作の概要が理解できること。</li> <li>・図面の役割や、図面の基礎的な知識・技術が習得されること。</li> </ul>

(出典 平成24年度シラバス, p. M-03)

また、学校教育法第115条には「高等専門学校は、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的にする。」との、高等専門学校に対して一般的に求められる目的が規定されており、前述した本科と専攻科における学習・教育目標、並びに各学科等の目的は、同第115条に適合している(資料1—1—①—8)。

「学校教育法第115条と、学習・教育目標、各学科等の目的との対応」

「深く専門の学芸を教授」に対応	「職業に必要な能力を育成」に対応
本科の学習・教育目標において ・専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける	本科の学習・教育目標において ・技術者に必要なデザインマインドを身に付ける ・実践的能力、論理的思考能力を身に付ける ・国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける
機械工学科の目的において ・機械技術者として必要な基礎学力の育成	機械工学科の目的において ・技術革新、高度情報化社会に対応できる能力の育成 ・創造性、実践的能力等の育成および人間力の育成
電気電子工学科の目的において ・電気電子技術者に必要な専門的かつ総合的な基礎力の育成	電気電子工学科の目的において ・幅広い専門分野に適応できる応用力の育成 ・独創力およびコミュニケーション能力の育成
電子情報工学科の目的において ・基礎的な学力と能力の育成	電子情報工学科の目的において ・変化するIT社会に対応できる応用力の育成 ・実験実習や卒業研究を通じた実践的能力や創造能力の育成
物質工学科の目的において ・物質工学に必要な基礎科学および幅広い専門基礎能力の育成 ・材料工学あるいは生物工学を得意とする専門能力の育成	物質工学科の目的において ・実践的能力およびプレゼンテーション能力の育成
環境都市工学科の目的において ・建設技術者に必要な基礎的な学力と能力の育成	環境都市工学科の目的において ・幅広い専門分野の理論に関する応用力の育成 ・実験実習や卒業研究を通じた実践的能力や創造能力の育成
専攻科における学習・教育目標において ・異なる技術分野を含む問題にも対処できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける	専攻科における学習・教育目標において ・技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける ・国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける ・実践的能力および論理的思考能力を総合的に身に付ける
生産システム工学専攻の目的において ・高等専門学校等で習得した基礎学力の基盤の上に、機械・設計関連、システム制御関連、電子・物性関連および情報・通信関連分野の知識を広く教授	生産システム工学専攻の目的において ・生産システムの設計並びに開発研究等を行うことのできる創造力を持った実践的技術者を育成

(出典 平成23年度自己点検・評価報告書, p.8)

(分析結果とその根拠理由)

学校教育法第115条に則って本校の目的を定め、その実現に向けて基本理念、教育方針、養成すべき人材像、本科(準学士課程)と専攻科課程の学習・教育目標、並びに一般科目教室・各学科・各専攻の目的を明確に、判りやすい表現で設定している。さらに、設定された学習・教育目標と開講科目との対応関係を明確にするとともに、学生自らが学習・教育目標の達成状況を確認できるシステムとなっている。

**観点1-2-①： 目的が、学校の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。**

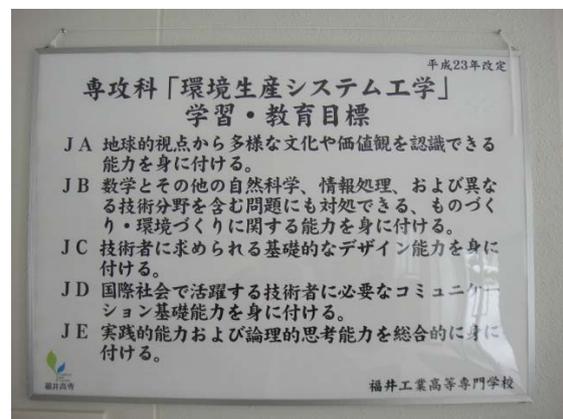
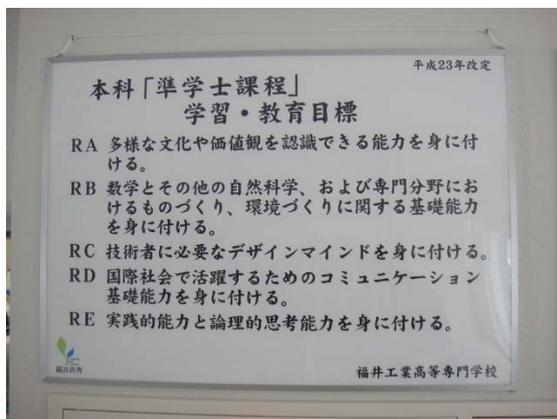
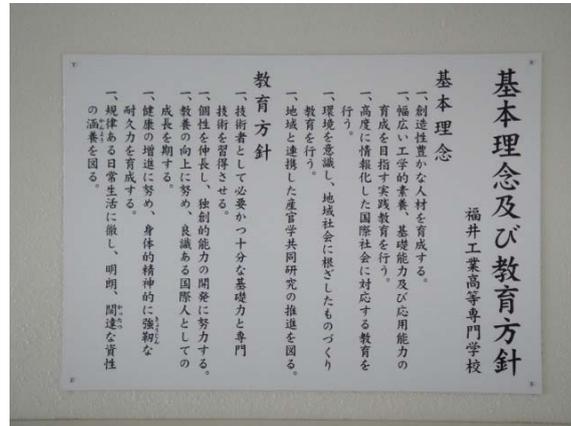
(観点に係る状況)

学習・教育目標は、その大項目を平成15年10月より全ての教室、実験室、演習室、廊下や図書館等に、また基本理念と教育方針については平成23年4月より学生玄関、福利施設や学寮等の主だった箇所にパネル掲示(資料1-2-①-1)し、教職員及び学生に周知している。さらに、学級担任や専攻科委員より担当学生に対して基本理念、教育方針等についての説明会を実施し、各学科等の目的とともに学生便覧(資料1-2-①-2)にも掲載して周知している。本科と専攻科の新入学生に対しては上記の説明を新入生オリエンテーション時に行っている(資料1-2-①-3)。教職員に対しては学生便覧と本校ホームページ(資料1-2-②-1)を通して、非常勤講師に対しては「教育課程に関する意見交換会」時(資料1-2-①-4)に周知するとともに、新任教職員には新任教職員オリエンテーション時に説明し、周知している(資料1-2-①-5)。さらに、非常勤を含む全教員が授業等で使用する教員手帳の表紙裏にも基本理念、教育方針等を記載し、周知している。

本校では、本科4、5学年(全学科)と専攻科の教育課程を融合し、「日本技術者教育認定機構(JABEE)」が認定した「環境生産システム工学」教育プログラムを実施している。これを受けて、同教育プログラムが目指すエンジニア像(専攻科の目指す人材像と同一)を、本科4、5年と専攻科1、2年の全学生と教職員にリーフレット(資料1-2-①-6)を配布するとともに、このことが記載された本科シラバス又は専攻科シラバス用いて専攻科委員やJABEE委員が学生に説明し、周知している。

以上、本校の基本理念、教育方針、養成すべき人材像等の目的の周知箇所並びにその対象者をまとめると、(資料1-2-①-7)のようになる。

「基本理念，教育方針，学習・教育目標の掲示パネル」



(出典 教室，実験室，廊下等)

「基本理念，教育方針と養成すべき人材像」

## 基本理念

創造性豊かな人材を育成する

幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う

高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う

環境を意識し地域社会に根ざしたものづくり教育を行う

地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

校長 池田大祐 書

## 教育方針

1. 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
2. 個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する
3. 教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する
4. 健康の増進に努め、身体的精神的に強じんな耐久力を育成する
5. 規律ある日常生活に徹し、明朗、かつ達な資性のかん養を図る

## 養成すべき人材像

優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会で活躍できる技術者

(出典 平成24年度学生便覧)

「新入生オリエンテーション時の説明資料（抜粋）」

### 教務(主に勉強)の話

(Ⅰ)福井高専の特徴  
(Ⅱ)義務教育から高等教育へ  
(Ⅲ)基本理念、教育方針・目標等  
(Ⅳ)成績評価・進級認定  
(Ⅴ)学習の仕方など

教務主事

### 本校の基本理念

- \* 創造性豊かな人材を育成する
- \* 幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う
- \* 高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う
- \* 環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う
- \* 地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

### 本校の教育方針

- \* 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
- \* 個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する
- \* 教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する
- \* 健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する
- \* 規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る

全教室に掲示

### 福井高専の学習・教育目標

RA: 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。  
RB: 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。  
RC: 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。  
RD: 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。  
RE: 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

### 養成すべき人材像

本校は  
優れた実践力と  
豊かな創造性を備え、  
国際社会で活躍できる技術者  
を育てます

(出典 学生課)

「非常勤講師との意見交換会案内」

非常勤講師との教育課程に関する意見交換会

- 1 日時 平成24年4月19日(木) 18時30分より1時間程度
- 2 場所 本校大会議室(管理棟2階)
- 3 次第
 

(1) 学校長挨拶(教務主事)	18時30分
(2) 教務全般に関する内容説明(教務主事)	18時35分
(3) 福井高専の教育改善活動について(JABEE委員長)	18時50分
(4) 公開授業と成績資料のPDF化について (創造教育開発センター長)	19時10分
(5) 非常勤講師の先生方との懇談(意見交換)	19時15分
(6) 事務連絡(教務主事)	19時25分

配付資料

- 1 「非常勤講師の先生方のための授業の進め方のご案内」
- 2 「平成24年度の教務に関する注意事項等のお知らせ」
- 3 「環境生産システム工学」教育プログラム
- 4 「平成24年度成績評価資料について」
- 5 成績資料データファイル登録マニュアル
- 6 基本理念、教育方針、学習・教育目標等及びアンケート

(出典 学生課)

「新任教職員オリエンテーション開催案内」

**Subject:** 【再送及び対象者追加】新任教職員オリエンテーションの開催について  
**From:** kamee\_t@fukui-nct.ac.jp (福井高専人事労務係)  
**Date:** 2012/03/30 17:50  
**To:** uejima@fukui-nct.ac.jp (上島 晃智), fujita@fukui-nct.ac.jp (藤田 克志), tubokawa@fukui-nct.ac.jp (坪川 武弘), katanaka@fukui-nct.ac.jp (田中 嘉津彦), abe@fukui-nct.ac.jp (阿部 孝弘), kaji@fukui-nct.ac.jp (鍛冶 肇), kitta@fukui-nct.ac.jp (橋田 良一)

教務主事 殿  
 学生主事 殿  
 寮務主事 殿  
 企画室長 殿  
 専攻科長 殿  
 総務課長 殿  
 学生課長 殿

人事労務係です。お世話になります。

表題の件について、対象者に総務課長及び学生課長を追加し、実施することとなりました。急な変更で申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

【新任教職員オリエンテーション】

1. 日 時 平成24年4月2日(月) 13:30から16:30
2. 場 所 小会議室1
3. 対 象 者 教員4名, 事務4名, 技術1名 計9名
4. 説明者及び内容等
 

校 長	13:30~13:50
総務課補佐(総務課の所掌事務について)	13:50~14:10
学生課補佐(学生課の所掌事務について)	14:10~14:30
( 休 憩	14:30~14:40)
教務主事(教務に係る事項について)	14:40~15:00
学生主事(学生に係る事項について)	15:00~15:20
寮務主事(寮務に係る事項について)	15:20~15:40
( 休 憩	15:40~15:50)
企画室長(企画に係る事項について)	15:50~16:10
専攻科長(専攻科に係る事項について)	16:10~16:30

(出典 総務課)

「環境生産システム工学」教育プログラム

福井高専「環境生産システム工学」教育プログラム

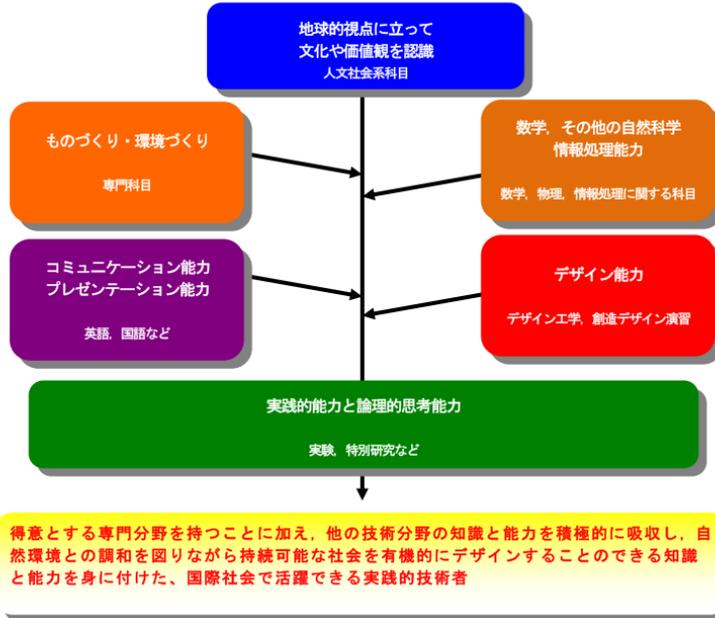
“ Production System Engineering ”

教育プログラムの概要

福井高専では、本科の全学科と専攻科の教育課程を融合した「環境生産システム工学」プログラムを実施しています。「日本技術者教育認定機構（JABEE）」は高等教育機関における技術者教育プログラムが社会の要求水準を満たしているかを公平に評価し、水準を満たしている教育プログラムを認定します。平成17年5月に本教育プログラムがJABEE認定されたため、この教育プログラムの修了生はワシントン協定を通じてアメリカなどで国際的に認定された大学卒業と同じ資格を持つことになります。また、技術士の第一次試験が免除され、技術士の基礎資格である修習技術者の資格が与えられ、その後、最短4年で技術士資格を得ることが可能です。



教育プログラムが目指すエンジニア像



(出典 専攻科)

「本校の目的の周知箇所、及びその対象者」

	基本理念	教育方針	養成すべき人材像	学習・教育目標	対象者
学校要覧	○	○	○	○	全教職員・外部
学生便覧	○	○	○	○	学生・全教職員
シラバス	○	○	○	○	学生・全教職員
ホームページ	○	○	○	○	学生・全教職員 ・外部
教室・実験室 ・廊下等	○	○	×	○	学生・全教職員 ・外部
教員手帳	○	○	○	○	全教職員

平成24年4～5月、本科・専攻科の学生と、非常勤を含む全教職員を対象に、本校の基本理念、教育方針等についての認識度アンケート(資料1-2-①-8, 9)を実施した。回収率は本科学生97.8%, 専攻科学生100%, 教職員97.3% (うち常勤者は100%)であった。

(資料1-2-①-10)に、各設問に対する学生からの回答を集計した結果を示した。問1:「基本理念」、問2:「教育方針」、問3:「養成すべき人材像」、そして問4:「本科の学習・教育目標」については、“よく知っている”及び“ある程度知っている”を合わせた、所謂“ポジティブ”な回答率はいずれも8割を超えているが、唯一専攻科学生の「教育方針」に対する回答率のみ本科学生に比べると低い。また本校では、JABEE認定に伴って本科4年次から技術者教育プログラムである「環境生産システム工学」プログラムを実施しているため、このアンケートではこれに関連して、本科4年生以上の学生を対象に、問5:「専攻科の学習・教育目標」の認識度を調査した。その結果、同項目の専攻科学生のポジティブな回答率は88%であるのに対して、本科学生のそれは71%であり、特に本科4年生では61%と低い値であった。4年生の数値が低い理由として、本調査の実施時期が前述した技術者教育プログラムが開始された初年度の開始時期であったことに加え、卒業後の進路意識がまだ十分に醸成されていないことが考えられる。これらの結果を踏まえ、本調査における問1～5までの設問事項に対して「あまり知らない」又は「まったく知らない」の、所謂「ネガティブ」な回答した学生に対し、6～7月に個別指導の時間を設け、学級担任又は担当専攻科委員から各項目の具体的な説明を再度行い、認識度の向上に向けた取組みを実施している。

次に、教職員からの回答の集計結果を、常勤教員(再雇用者を含む)、非常勤講師、及び技術・事務職員ごとに(資料1-2-①-11)に示す。この中で常勤教員の問1:「基本理念」、問2:「教育方針」、問3:「養成すべき人材像」、問4:「各学科が育成する人材像及び専攻科が育成する技術者像」、問5:「本科(準学士課程)の学習・教育目標」、及び問8:「専攻科の学習・教育目標」に対するポジティブな回答率はいずれも十分に高く、周知が適切になされ理解が進んでいるといえる。また、技術・事務職員においては問1, 2の回答率は常勤教員とほぼ同様であるが、問3～5及び8に対するネガティブな回答率が10%程度ある。さらに、非常勤講師においても問3を除いて他の設問事項に対する回答率は、技術・事務職員の問8と同様に約10%が“ネガティブ”と回答している。これらを全教職員についてまとめたものを(資料1-2-①-12)に示す。問1～5についての“ポジティブ”な回答率はいずれも高く、ほぼ全教職員がこれらの項目を理解しているといえるが、問8についてはそれらよりも低い値になっている。このような状況を踏まえ、基準4で後述する「アドミッションポリシー」の周知を含め、“ネガティブ”に回答した教職員を対象に教務主事と専攻科長による講習会等を開き、理解度の向上に努めている。

資料1—2—①—8

「本校の基本理念等のアンケート（本科低学年）（抜粋）」

平成24年5月14日

1・2・3年学生 各位

教務主事

### 本校の基本理念、教育方針等に関するアンケート

皆さんご存知のように、本校の教育プログラム(授業)は、基本理念、教育方針等に基づいて組立てられています。したがって、これらを意識しながら授業に臨むことは、本校での学習を体系づけて理解するうえで非常に大切なことです。

そこで、これらに対する学生諸君の理解度を調査するために記名アンケートへのご協力をお願いいたします。

\*関心の低い学生諸君には、認識を高めもらうため、研修会等に参加をしてもらう予定です

1. 本校の**基本理念**を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない
  
2. 本校の**教育方針**を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない
  
3. 本校の**養成すべき人材像**を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない
  
4. 本科（準学士課程；1～5年）の**学習・教育目標**を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない
  
5. あなたの**自己学習時間**はどれくらいですか。  
 (授業時間以外の学習時間でレポート作成など校内での学習時間を含む)

平均(1日) \_\_\_\_\_ 時間

クラス： \_\_\_\_\_ 氏名： \_\_\_\_\_

(出典 学生課)

資料1—2—①—9

「本校の基本理念等のアンケート（常勤教員）（抜粋）」

平成24年4月18日

常勤教員 各位

教務主事  
専攻科長

本校の基本理念、教育方針等に関するアンケートについて

日頃より本校学生への教育にご尽力頂き感謝申し上げます。

さて、標記の件、本校の教育プログラムは、基本理念、教育方針等に基づいて作られておりますが、これらに対する皆様の理解度を調査するために記名アンケートへのご協力をお願いいたします。

以下の設問に対し、あてはまる項目に○をつけ、4月27日（金）までに学生課教務係へ提出して下さいようお願いいたします。

なお、理解度の低い方には、関心を高めいただくため、研修会等を実施する予定です。

1. 本校の基本理念を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

2. 本校の教育方針を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

3. 本校の養成すべき人材像を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

4. 本校の養成すべき人材像を念頭に、各学科が育成する技術者像及び専攻科が育成する技術者像（＝環境生産システム工学プログラム（JABEE）が目指す技術者像）が定められていることを知っていますか。
  - (1) 知っている
  - (2) 知らない

5. 本科（準学士課程；1～5年）の学習・教育目標を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

6. 本校のアドミッションポリシーを知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

7. 本科における推薦入学者の選抜では、各学科におけるアドミッションポリシーに基づいた面接を行っていることを知っていますか。
  - (1) 知っている
  - (2) 知らない

8. 本校専攻科の学習・教育目標（＝環境生産システム工学プログラム（JABEE）の学習・教育到達目標）を知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

9. 本校専攻科のアドミッションポリシーを知っていますか。
  - (1) よく知っている
  - (2) ある程度知っている
  - (3) あまり知らない
  - (4) まったく知らない

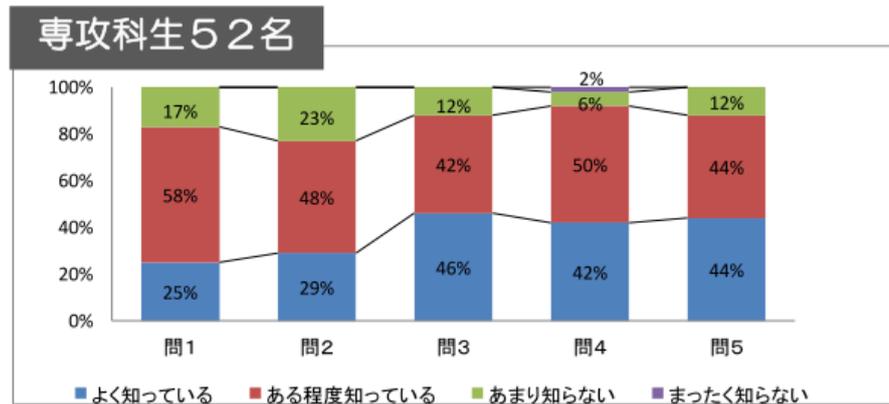
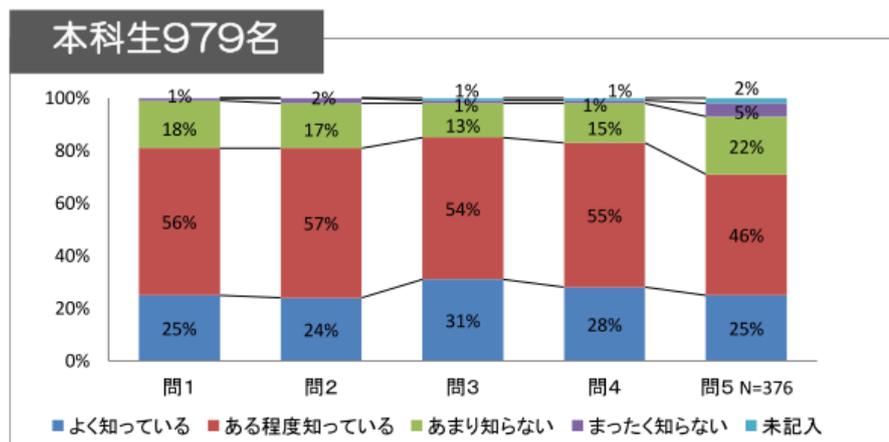
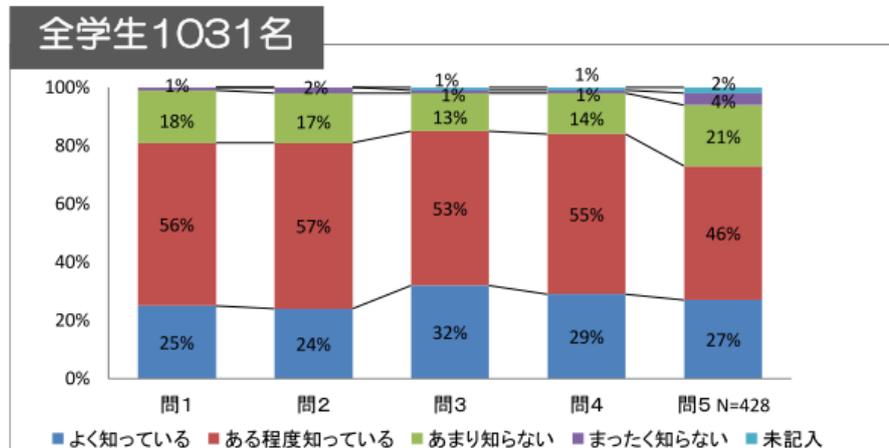
10. 本校専攻科における入学者の選抜（推薦・学力）では、専攻科におけるアドミッションポリシーに基づいた面接を行っていることを知っていますか。
  - (1) 知っている
  - (2) 知らない

ご協力ありがとうございました。

氏名 \_\_\_\_\_

（出典 学生課）

「本校の基本理念等のアンケート結果（学生，抜粋）」

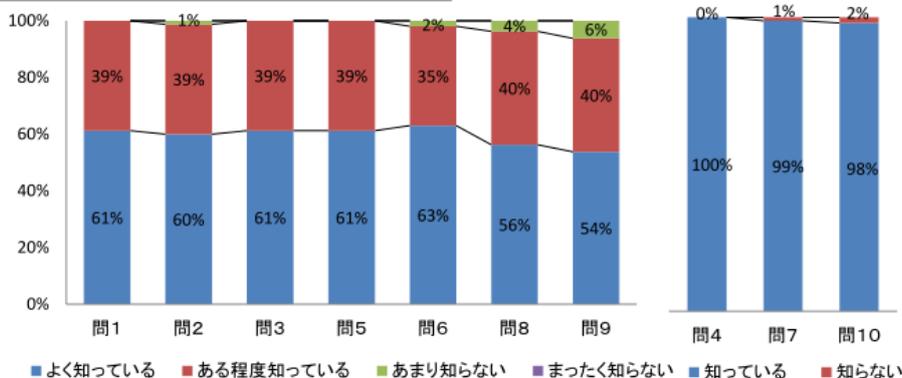


- 問1. 本校の基本理念を知っていますか。
- 問2. 本校の教育方針を知っていますか。
- 問3. 本校の養成すべき人材像を知っていますか。
- 問4. 本科（準学士課程：1～5年）の学習・教育目標を知っていますか。
- 問5. 環境生産システム工学プログラム（JABEE）（＝本校専攻科の学習・教育目標の

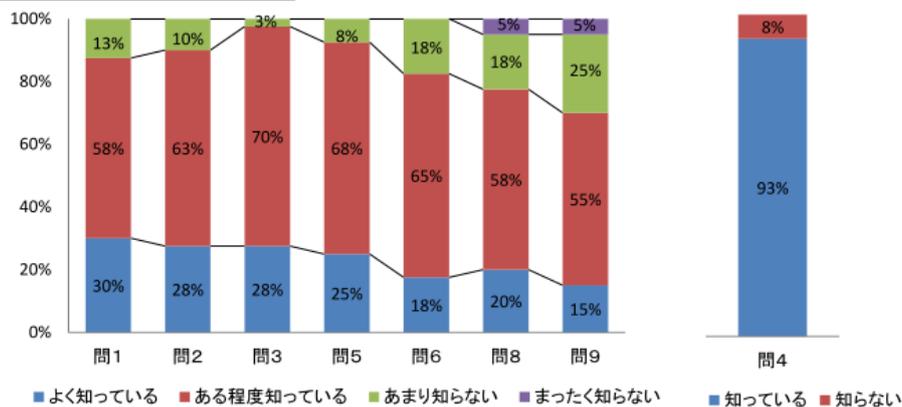
（出典 学校運営会議）

「本校の基本理念等のアンケート結果（教職員，抜粋）」

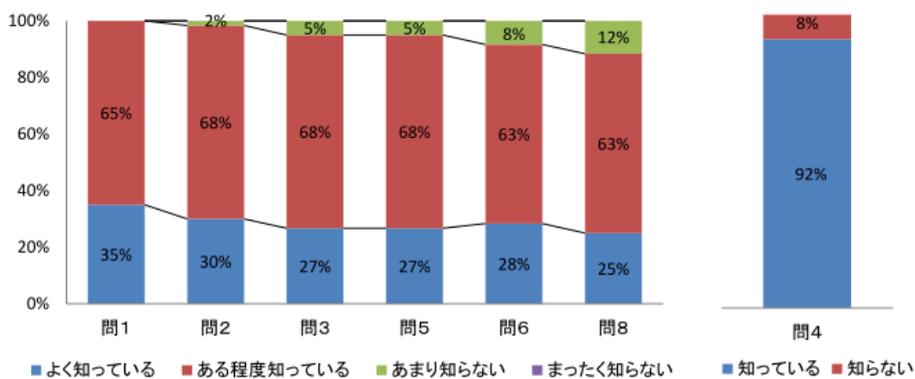
常勤教員(再雇用者含む) 80名



非常勤講師 40名



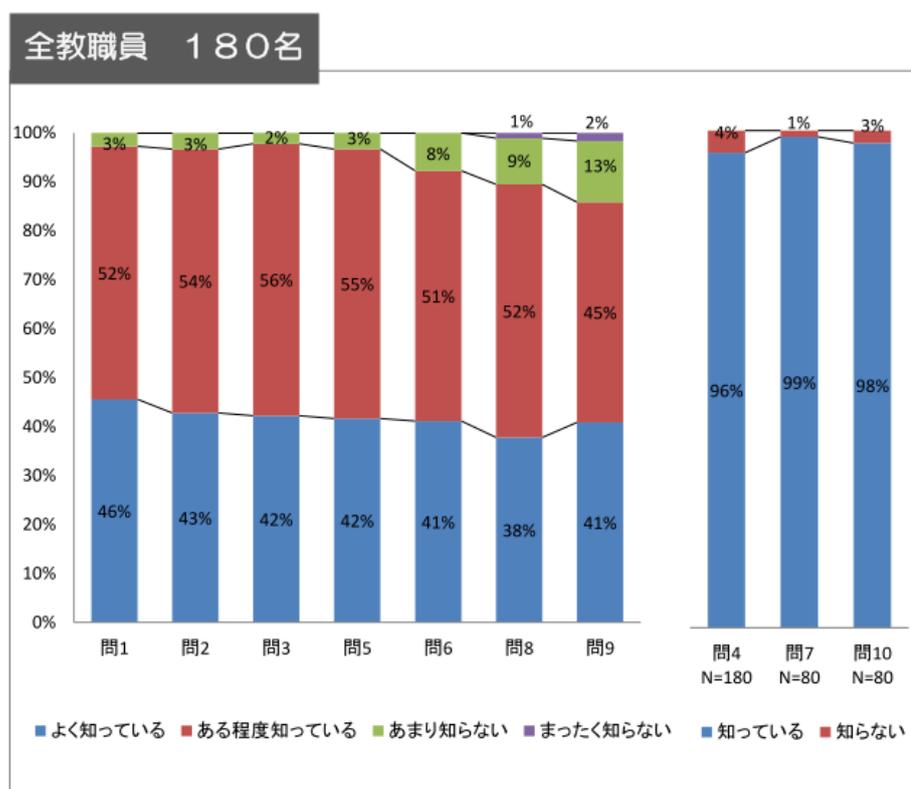
技術・事務職員 60名



- 問1. 本校の基本理念を知っていますか。
- 問2. 本校の教育方針を知っていますか。
- 問3. 本校の養成すべき人材像を知っていますか。
- 問4. 本校の養成すべき人材像を念頭に、各学科が育成する技術者像及び専攻科が育成する技術者像（＝環境生産システム工学育プログラム（JABEE）が目指す技術者像）が定められていることを知っていますか。
- 問5. 本科（準学士課程：1～5年）の学習・教育目標を知っていますか。
- 問6. 本校のアドミッションポリシーを知っていますか。
- 問7. 本科における推薦入学者の選抜では、各学科におけるアドミッションポリシーに基づいた面接を行っていることを知っていますか。
- 問8. 本校専攻科の学習・教育目標（＝環境生産システム工学プログラム（JABEE）の学習・教育到達目標）を知っていますか。
- 問9. 本校専攻科のアドミッションポリシーを知っていますか。
- 問10. 本校専攻科における入学者の選抜（推薦・学力）では、専攻科におけるアドミッションポリシーに基づいた面接を行っていることを知っていますか。

（出典 学校運営会議）

「本校の基本理念等のアンケート結果（全教職員）」



- 問1. 本校の基本理念を知っていますか。
- 問2. 本校の教育方針を知っていますか。
- 問3. 本校の養成すべき人材像を知っていますか。
- 問4. 本校の養成すべき人材像を念頭に、各学科が育成する技術者像及び専攻科が育成する技術者像（＝環境生産システム工学 育プログラム（JABEE）が目指す技術者像）が定められていることを知っていますか。
- 問5. 本科（準学士課程：1～5年）の学習・教育目標を知っていますか。
- 問6. 本校のアドミッションポリシーを知っていますか。
- 問7. 本科における推薦入学者の選抜では、各学科におけるアドミッションポリシーに基づいた面接を行っていることを知っていますか。
- 問8. 本校専攻科の学習・教育目標（＝環境生産システム工学プログラム（JABEE）の学習・教育到達目標）を知っていますか。
- 問9. 本校専攻科のアドミッションポリシーを知っていますか。
- 問10. 本校専攻科における入学者の選抜（推薦・学力）では、専攻科におけるアドミッションポリシーに基づいた面接を行っていることを知っていますか。

（出典 学校運営会議）

（分析結果とその根拠理由）

基本理念、教育方針や学習・教育目標等は教室や実験室等の主要箇所パネル掲示するほか、学生便覧や教員手帳等にも記載している。さらに、新入生や新任教職員に対してはオリエンテーション時にも説明して、周知を図っている。本年度当初に行った基本理念、教育方針等の認識度アンケートによると、基本理念、教育方針、養成すべき人材像、本科（準学士課程）の学習・教育目標等に対し“よく知っている”及び“ある程度知っている”と答えた学生の回答率はいずれも80%を超え、また、教職員に関しては90～98%であった。以上のことから、本校の目的等は教職員及び学生に周知されているといえる。

## 観点1-2-②： 目的が、社会に広く公表されているか。

(観点に係る状況)

本校の基本理念、教育方針、養成すべき人材像等の目的は、ホームページに掲載して社会にも公表している(資料1-2-②-1)。また、印刷物としては本校の目的と、一般科目教室・各学科・各専攻の目的等を記載した本校要覧(資料1-2-②-2)を用意し、就職関連企業からの求人来訪者、研究打合せ等のための来校者、インターンシップ先訪問、進路・入試説明会(資料1-2-②-3)や中学校訪問等で広く配布し、中学生と中学校関係者には目的のみならず本校のアドミッションポリシーについても詳細な説明を行っている。入試広報資料としてパンフレット「福井高専の歩き方」(資料1-2-②-4)やリーフレット「国立福井高専」(資料1-2-②-5)にも本校や学科等の目的の一部を中学生向けにわかりやすい文言で記述し、これらの入試広報資料は体験入学や進路・入試説明会等での配布とともに、福井・石川・滋賀県内の中学校(213校)にも送付している。この他、学生募集要項にも明記(資料1-2-②-6～8)して県内外の中学校、高等学校や全国高専等へ送付し、公表している。

### 資料1-2-②-1

#### 「本校の目的のホームページへの記載」

HOME > 学校案内 > 学校紹介 > 本校の使命

**本校の使命**

**基本理念**

1. 創造性豊かな人材を育成する
2. 幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う
3. 高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う
4. 環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う
5. 地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

**教育方針**

1. 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
2. 個性を伸ばし、独創的能力の開発に努力する
3. 教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する
4. 健康の増進に努め、身体的精神的に強靱(きょうじん)な耐久力を育成する
5. 規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達(かつたつ)な真性の涵養(かんよう)を図る

**本校の養成すべき人材像**

優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会に活躍できる技術者

**学習・教育目標 (大項目)**

本科 (準学士課程)

- RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- RB 数学とその他の自然科学、及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける。
- RC 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。
- RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

(平成23年改定)

専攻科 (環境生産システム工学プログラム 学習・教育到達目標)

- JA 地球的視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。
- JB 数学とその他の自然科学、情報処理、及び異なる技術分野を含む問題にも対処できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける。
- JC 技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける。
- JD 国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける。
- JE 実践的能力及び論理的思考能力を総合的に身に付ける。

(平成23年改正)

(出典 本校ホームページ<http://www.fukui-nct.ac.jp/info/outcomes.html>)

「本校の目的の学校要覧への記載」

基本理念 教育方針 学習・教育目標 Learning and Educational Objectives

基本理念

- 創造性豊かな人材を育成する
-幅広い工学の素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う
-高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う
-産業を尊重し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う
-地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

教育方針

- 1. 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
2. 個性を伸ばし、活動の能力の開発に努力する
3. 教育の向上にむけて、良識ある国際人としての成長を期する
4. 健康の増進につとめ、身体の精神的に強い十分な耐久力を育てる

養成すべき人材像

-優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会で活躍できる技術者

学習・教育目標

- (本科(准学士課程))
RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける
RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける
RC 技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける
RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける
RE 実践的能力と論理的思考能力を身に付ける
JA 地球の視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける
JB 数学とその他の自然科学、情報処理、および異なる技術分野を習得期間にも対応できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける



Basic Philosophy

- To develop the students' creativity
-To provide a curriculum which will give the students the fundamental and advanced skills that are required for careers in engineering.
-To provide the students with skills in advanced information technology which are necessary for working in today's international environment.
-To educate and make the students aware of environmentally friendly manufacturing. To emphasize our regions traditional and new industries in the local community.
-To promote industry-government-academic collaborations in cooperation with the local community.

Educational Policy

- 1. To develop the students' basic skills and expertise in their special fields which will be required for them to work in the future as engineers.
2. To develop students' personal potential and encourage their creativity.
3. To help the students develop their personal potential. Make students aware of the international environment.
4. To improve students' health and develop their physical and mental endurance.
5. To improve students' daily lives so that they can lead happy and meaningful lives.

Desirable Human Resources to Nurture

"Engineers who are possessed of both excellent practical ability and rich originality, and can take an active role in the internationalized society"

Learning and Educational Objectives

- (Regular Course)
RA : To develop the students' abilities and for them to become aware of their cultural heritage and its values.
RB : To develop the students' basic abilities in mathematics, the sciences, and their specific fields of specialization. Further to make the students aware of the contemporary environmental issues in scientific/technological advancements.
RC : To develop the students' design skills that are necessary for engineering and science.
RD : To develop the students' basic communication skills and to be able to interact with people from different cultures and backgrounds.
RE : To develop the students' practical and logical thinking skills.
JA : To develop the students' ability to understand the multicultural diversity of the world and develop their own inherent sensitivities and values.
JB : To develop the students' skills to work with all fields of technology in a project. They will do this with skills learned in mathematics, information processing and manufacturing skills. They will do all of this while constrained by the environmental implications of their projects.



基本理念、教育方針、学習・教育目標 Learning and Educational Objectives

RC

技術者に必要なデザインマインドを身に付ける。

- 1. 課題に対して自主的に問題を発見し、解決方法を探求して問題解決力の顕著性を認識できる。

RD

国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける。

- 1. 英語による基礎的な対話や文章が理解でき、自分の意見を表現できる。
2. 日本語の文章や書体作品を正確に理解、鑑賞でき、自分の意見や主張を適切に日本語の読書や文章で表現できる。
3. わかりやすい図表等を作成し、それをを用いて日本語より効果的な説明ができる。

RE

実践的能力と論理的思考能力を身に付ける。

- 1. 実験・調査などの経験を通してデータの解析方法を学び、理論との比較や考察などができる。
2. 課題の背景を理解し、得た知識を基に適切な方法を選定し実験・調査などを行い、データを解析・考察することにより、結果を論理的に説明できる。
3. 身体・健康・スポーツに関する知識と実践力を獲得するために各自の能力に応じて目標を設定し、個人あるいはグループで課題を達成できる。

《専攻科》「環境生産システム工学」プログラム

JA

地球の視点から多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける。

- 1. 異なる地域に属する人々がもつ文化や、それに根ざした価値観などを客観的に認識できる。
2. 持続可能な地球社会を構築するという目的意識のもと、種々の分野における人間の活動や文明の地球環境に与える影響について理解できる。
3. 技術者が社会に対して負うべき責任を明確に自覚しうようたで、工学に関する学生協定が規定している倫理綱領を認識し、説明できる。

JB

数学とその他の自然科学、情報処理、および異なる技術分野を習得期間にも対応できる、ものづくり・環境づくりに関する能力を身に付ける。

- 1. 工学の諸課題に対処する際に必要と、数学とその他の自然科学に関する知識を理解できる。
2. 工学の諸課題に対処する際に必要と、情報処理に関する基礎知識を理解できる。
3. 得意とする専門技術分野を持つことに加え、他の技術分野も専攻科で規定している専門科目の履修を奨励したものであり、積極的に学ぶことにより、専門知識を習得し、ものづくりのプロセスに対応できる。

RC

To develop the students' design skills that are necessary for engineering.

- 1. The students will identify problems, solve problems, and develop their problem solving competence.

RD

To develop the basic communicative competence to work actively in the globalized society.

- 1. The students will accurately understand and appreciate Japanese language or literary works, and properly express their thoughts and ideas in Japanese.
2. The students will understand and appreciate Japanese language or literary works, and properly express their thoughts and ideas in Japanese.
3. The students will construct easy-to-understand graphs and charts and thereby give clear explanations in Japanese.

RE

To acquire practical and critical thinking skills.

- 1. The students will analyze data of their own experiments and research work and compare the data they acquired with theoretical hypotheses and discuss the differences critically.
2. The students will research the background of each task they are given. After the background research they will learn to select the most appropriate method to perform their experiment or orient their research. Finally, they will explain critically and objectively the results they received through data analysis.
3. The students will set appropriate goals according to their abilities and find solution to their individual or group task in order to gain knowledge and practicality in the field of health and sports.

[Advanced Engineering Course] Production System Engineering Program accepted by JABEE

JA

To develop cultural sensitivity, respect the differences of cultural values and develop a global point of view.

- 1. The students will learn to understand the multicultural diversity of the world and develop their own inherent sensitivities and values.
2. The students will learn to understand the impact of human activities and civilization on the earth's environment with a view to building a sustainable global society.
3. The students will learn to clearly understand the social responsibility that engineers will have to acknowledge and to fully understand the code of ethics specified by engineering organizations.

JB

To develop the skills to work with all fields of technology in a project. They will do this with skills learned in mathematics, information processing and manufacturing skills. They will do all of this while constrained by the environmental implications of their projects.

- 1. The students will have sufficient knowledge of mathematics and other sciences to solve engineering problems.
2. The students will have the sufficient knowledge of information processing necessary to help them to understand and solve engineering problems.
3. The students will become aware of the impact of their role as engineers in society and be able to extend their academic interests beyond their special field of engineering in cooperation with the manufacturing process, fully aware of building a sustainable society.

基本理念、教育方針、学習・教育目標 Learning and Educational Goals

JC

技術者に求められる基礎的なデザイン能力を身に付ける。

- 1. 製造物としての製品を設計する際に、複数の技術分野についても考慮しながら、つくる目的を明確し、機能性・安全性および経済性に配慮し、環境負荷の低減・資源節約などを考慮できる。
2. 新しく出会った課題について、自ら問題点を発見しようとする意欲を持ち、既知の事項と未知の事項とを識別しうようたで、それを整理・整理できる。
3. 既知の事項と未知の事項とを区別し、自分の専門分野外の技術分野を自ら認識し、多様な視点から検討・考察し、その結果を具体的に示せる。
4. 異なる分野の人をきいたグループでの議論および共同作業を通して、解決力について複数の候補を見いだし、その中から最も適切なものを選択できる。

JD

国際社会で活躍する技術者に必要なコミュニケーション基礎能力を身に付ける。

- 1. 英語による日常会話の内容の文章や対話を理解でき、英語により自分の意見を適切に表現できる。
2. 得意とする専門技術分野に関する英語論文の内容を日本語で説明できる。
3. 自分の意見・主張などを、相手を尊重し、それに基づいた建設的な議論や文章で表現できる。
4. 日本語による口頭発表や対話において、自らの報告・聴取への対応・相手を理解し、適切な質問やコメントを適切に行うことができる。
5. 正確でわかりやすいグラフや図表を、必要に応じて作成できる。

JE

実践的能力および論理的思考能力を総合的に身に付ける。

- 1. 得意とする専門技術分野をきりこみ複数の工学分野において、与えられた実験・演習課題の工学の意義を認識し、提示された方針を計画・実行することにより、定められた期限までに適切な結果を導ける。
2. 数学や情報処理の知識・技術を用いて、実験または数値シミュレーションの結果を統計的に処理し、その結果を評価して、対象としている工学現象の成り立ち、仕組み等を理解し、説明できる。
3. 技術者が経験する実務上の工学的な諸問題を認識し、それらを具体的に示せる。
4. 自ら明確に設定した目標を達成するため、詳細な計画を立て、それに沿って継続して努力できる。
5. 専門家に関する意見を論理的に構築し、それに基づいた問題解決のための仮説を立て、適切な実験・解析方法を適切に行うことができる。

JC

To acquire the basic design skills that are required of engineers.

- 1. The students will learn about specific manufactured and industrial products already available and used which will help them design their final product. The students will also understand the functions, the comparative safety, as well as the economic feasibility of these objects in their design. Finally, the students will understand the environmental impact of using these products.
2. The students will understand the problems which will arise as they develop new products. They will learn to distinguish between new phenomena from old phenomena as they do their research and development. From the results the students will note the differences in their research data and results.
3. The students will be able to discuss problems creatively from various viewpoints and to coherently present the results.
4. The students will be able to discover a number of potential solutions through cooperative group discussions among members of different specialties and to choose the most appropriate solution.

JD

To acquire the basic communicative competence required for engineers who are active in the international community.

- 1. The students will be able to understand general topics in daily life and express themselves competently in English.
2. The students will be able to explain in Japanese the contents of English papers in their fields of specialty.
3. The students will be able to express their own ideas and viewpoints in discourse and writing in Japanese, using clear and descriptive expressions.
4. The students will be able to make oral presentations or attend discussions in Japanese, and to respond to questions from the audience appropriately.
5. The students will be able to construct easy-to-understand graphs and figures.

JE

To acquire the practical skills needed in an engineering environment and the critical thinking skills required in professional environments.

- 1. The students will learn to understand the possible technological significance of their experiments. They will learn to work within the time constraints that are part of working in a corporate environment. To do this they will learn to develop appropriate methodology and planning, finally implementing their plan and method.
2. The students will develop statistical methods and data analysis to analyze their experiments and simulations.
3. The students will become aware of practical technological problems that engineers experience and to be able to present them concisely.
4. The students will learn to make specific, detailed plans to achieve their research goals.
5. The students will learn to discuss their views in professional discussions coherently. Further they will learn to recommend solutions from their experimental and analytical results.



アドミッションポリシー (入学希望の方針) Admissions Policy

本校は、入学者とて次のような人を広く求めます。 Fukui National College of Technology seeks the students with the following attributes.

学校としてのアドミッションポリシー All departments commonly seek those students who:

- 1. ものづくり、環境づくりに興味がある人。
2. 基礎学力がしっかりしている人。
3. 新しいことについてチャレンジする人。
4. 国際社会で活躍したいと考えている人。
5. 自分自身で課題を考え、解決する能力を身に付けたい人。

各専攻科のアドミッションポリシー Admissions Policy of each department

機械工学科のアドミッションポリシー (1) シー

- 1. 機械工学科のアドミッションポリシー
2. コンピュータやロボットなどの制御システムや、環境、福祉、宇宙などの分野に興味がある人。
3. ワイルドな学生、ものづくりに創造性を発揮して、入学意欲が強い人。
4. 社会で活躍したいと考えている人。
5. 自分自身で課題を考え、解決する能力を身に付けたい人。

電気電子工学科のアドミッションポリシー

- 1. ボット、システム、コンピュータなど動かすための電子制御やプログラミング技術を学びたい人。
2. 電気電子工学の分野で使用する電子回路や制御回路に興味がある人。
3. 電気自動車や太陽電池発電などに使われる環境にやさしいリチウムイオン電池や蓄電池技術に興味がある人。

電子情報工学科のアドミッションポリシー

- 1. 化学と生物の世界へ第一歩を踏み出したい人。
2. 地球に優しいものづくりをしたい人。
3. バイオの技術で社会に貢献したい人。

環境都市工学科のアドミッションポリシー

- 1. 化学と生物の世界へ第一歩を踏み出したい人。
2. 地球に優しいものづくりをしたい人。
3. バイオの技術で社会に貢献したい人。

An interest in manufacturing of products and the environment.
Have fundamental competences.
Are eager to tackle new objects.
Are eager to play active roles in the international community.
Want to acquire the ability to find challenge and their solutions on their own.

Department of Mechanical Engineering seeks those who:
(1) Are interested in mechanical systems such as cars, airplanes, and robots, and the interested in research fields such as environmental, welfare, and space engineering.
(2) Want to contribute to human society by studying science and showing their creativity for manufacturing of products.
(3) Want to learn technical knowledge of various research fields such as materials needed for producing machines, energy for working them, and information for controlling them.

Department of Electrical and Electronic Engineering seeks those who:
Want to learn the electronic and programming technologies related to a robot control, system design, computer use, and so on.
Want to learn the electric circuit and information and communication technologies which are used for an instruments household appliance, optical communication, and so on.
Want to learn an eco-friendly clean energy technologies which are used for battery car and photovoltaic power generation, and moreover, want to learn new material technologies.

Department of Electronics and Information Engineering seeks those who:
Are interested in mechanism and programming of computer.
Want to apply computer network and/or to make computer program controlling intelligent robot.
Have the dream to develop epoch-making IT equipment.

Department of Chemistry and Biology seeks those who:
Want to step in respect of the first step to chemistry and biology.
Want to do chemical manufacture from the global viewpoint.
Want to contribute to the society in biotechnology.

Department of Civil Engineering seeks those who:
Are interested in building ecological communities for coexistence with natural lives.
Are interested in developing sustainable facilities, areas and cities full of safety and amenity.
Are interested in designing engineering systems to prevent hazards and disasters.

専攻科では、次のような資質や意欲を持つ人を広く求めています。 The Advanced Engineering Course seeks the following students who are qualified to be and eager to be:

- 1. 得意とする専門分野の基礎能力 (数学的素養を含む) をしっかりしている人。
2. 利発で自主的に能動的に学び意欲を持つ人。
3. ものづくりに興味がある人。
4. 多様なシステムを理解し、創造的にデザインする能力を身に付けたい人。
5. 国際社会で活躍できる実践的技術者を志す人。
6. 専攻科の学習を希望する人。

## 「入試説明会概要と過去5年間の参加者数」

## ⑧ 入試説明会（10～11月）

福井県、滋賀県内を幾つかのブロックに分けて、校長・副校長・学科長・一般科目主任・教務主事補によって本校の紹介と入試の実際についての説明会を行っている（福井県10会場（11回）、滋賀県6会場）。昨年とほぼ同じ形式で実施しており、会場の一部を変更し、福井県内の説明会は、福井会場（2回）と高専会場（2回）以外は副校長と教務主事補がチームを組んで説明会を行った。なお、募集要項の内容や入試問題等の内容を昨年より多く分かりやすくしたスライドを作成し、入試説明会のマニュアルを改訂した。学科紹介用のスライドは、統一したデザインで各学科に作成を依頼した。過去5年間の入試説明会の参加者数の推移を下表に示すが、昨年度より生徒数で66名、合計で128名増加していた。福井新聞に9月に掲載された県教育委員会発表の高専志望者数も昨年度と比較して29名増加している。今年は福井県の中学3年生の人数が約300名減少したが、参加生徒数は幸いにも増加し、過去8年間では最多の人数となり、オープンキャンパスの参加者増に対応していた。

また、各中学校が主催する高校説明会にも積極的に参加するようにしている。今年度は昨年から6校増えて17校から参加依頼があり、副校長が10回、教務主事補が7回出席し入試に関する話を行った。なお、昨年までは丹南地区の中学校からの依頼が主であったが、今年度は滋賀県からの依頼が4校と増加し、大野や若狭地区からの依頼もあった。なお、2月には、中学校2年生に対する本校紹介の依頼が1件あり、教務主事補が参加した。

## ＜過去5年間の入試説明会参加者数、県教委発表の高専希望者数（9月集計）の推移＞

	生徒	保護者	教諭	計	県教委
23年度	258	272	61	591	291
22年度	351	337	61	749	312
21年度	285	256	80	621	283
20年度	268	223	65	556	254
19年度	329	297	78	704	278

（出典 平成23年度自己点検・評価報告書，p.64～65）

「福井高専の歩き方」



Department of  
**MECHANICAL Engineering**

**機 械 工 学 科**

機械工学科は 機械のしくみを知り、ものづくりを実践して エンジニアとしての総合力を備えた人材を育成します

**幅広い分野を扱う機械工学**  
飛行機、ロボットなどの巨大な装置から、新素材、精密加工、分子運動などの小さな世界まで、様々なスケールを対象にした工学会校にわたる技術学びます。  
また、ロボット制御、メカトロニクス、コンピューターシミュレーションなど、ITを積極的に活用しています。

**創造力を養うカリキュラム**  
機械工学科4年の「創造工学実習」では、校内ロボットコンテストを実施します。ものづくりの知識を深め、ロボットとしての能力と独創的な工学デザインを磨きます。また、「C言語応用」と「制御機構実習」では、ワンボードマイコンとセンサーロボットで学習プログラムと制御プログラムの能力をコンテスト形式で競います。その他にも、「アイデア設計工学」など、創造性を養う科目を用意しています。

**アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト**  
アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト全国大会は、東京の国立競技場で開催されます。  
福井高専チームは、激戦の地区大会を勝ち抜き全国大会への出場を多数果たしています。最高の賞である「コンク大賞」を2回（93年・97年）も受賞しています。

**エンジニアとしての総合力**  
機械工学科では、機械をつくる「材料・加工系」、機械を動かす「エネルギー・駆動体系」、機械を制御する「情報・制御系」の分野を学びます。また、全体の知識を主として一つの機械をつくる「設計」「製作」などを学ぶことにより、エンジニアとしての総合力が身に付くことにも期待しています。

**卒業後の進路 幅広い重要分野の企業への就職が可能です。**  
【主な就職先】 自動車、電気、航空宇宙、食品技術工業、住友化学、小島プレス、JAL航空機整備工場、森精機製作所、カワムライサイクル、マルホ、吉野工業所、セーレン、島精化学工業、東エシマツター、エイブソニック、パナソニックエレクトロニクスシステムズジャパン、福井村田製作所、エコー など。  
【主な進学先】 卒業生の卒業先が豊富です。  
北海道大学、秋田大学、長崎大学、東山大学、電気通信大学、富山大学、金沢大学、福井大学、岐阜大学、三重大学、神戸大学、九州工業大学、長岡技術科学大学、徳島技術科学大学、立命館大学、筑波大学校、福井高等専攻科、東京高等専攻科 など。

**「技術者として、夢を創ります。」**  
このでできるエンジニアとして  
の夢を創ります。

<http://mech.me.fukui-nct.ac.jp/>

(出典 学生課)

「リーフレット「国立福井高専」」

福井高専は  
優れた実践力と  
豊かな創造性を備え、  
国際社会で活躍できる技術者  
を育てます

学校制度図

小学校  
Elementary School  
Master's Program

中学校  
Junior High School

高等専門学校  
College of Technology

高等学校  
Senior High School

大学  
University

大学院  
Graduate School

工学基礎コースが設置されています。  
五等一級入学者は基礎的・創造性科目の履修が必須です。1人1台のPCを備えた授業や、2D/3D CADによる設計・加工の体験など、最新の設備・人材に恵まれた環境が実現されています。

◆機械工学科  
飛行機・ロボットなどの巨大な装置から、新素材、精密加工、分子運動などの小さな世界まで、様々なスケールを対象にした工学会校にわたる技術学びます。また、ロボット制御、メカトロニクス、コンピューターシミュレーションなど、ITを積極的に活用しています。

◆電子情報工学科  
飛行機・ロボットなどの巨大な装置から、新素材、精密加工、分子運動などの小さな世界まで、様々なスケールを対象にした工学会校にわたる技術学びます。また、ロボット制御、メカトロニクス、コンピューターシミュレーションなど、ITを積極的に活用しています。

◆電気電子工学科  
飛行機・ロボットなどの巨大な装置から、新素材、精密加工、分子運動などの小さな世界まで、様々なスケールを対象にした工学会校にわたる技術学びます。また、ロボット制御、メカトロニクス、コンピューターシミュレーションなど、ITを積極的に活用しています。

◆物質工学科  
飛行機・ロボットなどの巨大な装置から、新素材、精密加工、分子運動などの小さな世界まで、様々なスケールを対象にした工学会校にわたる技術学びます。また、ロボット制御、メカトロニクス、コンピューターシミュレーションなど、ITを積極的に活用しています。

◆環境都市工学科  
飛行機・ロボットなどの巨大な装置から、新素材、精密加工、分子運動などの小さな世界まで、様々なスケールを対象にした工学会校にわたる技術学びます。また、ロボット制御、メカトロニクス、コンピューターシミュレーションなど、ITを積極的に活用しています。

(出典 学生課)

「平成24年度学生募集要項」



IX 入学案内

1 本校の概要

本校は中学校卒業生を受入れ、早期から、5年一貫の技術教育を行い、創造力と実践力とを併せ持つ開発研究型技術者を育成する国立の高等教育機関です。本校では技術教育を行って技術立国を担い日本の未来を拓く有能なエンジニアを養成します。

本校卒業時には「準学士」と称することができます。さらに高度な科学技術の教育と密度の高い研究指導を希望する学生のために、専攻科が設置されており、(独)大学評価・学位授与機構の認定を経て、「学士(工学)」の学位を取得することができます。

また、本科4年次より5年次までは本校における「環境生産システム工学」教育プログラムを履修することとなります。このプログラムは本科4、5年と本校専攻科で実施しているもので、平成17年5月に日本技術者教育認定機構(JABEE)により認定されました。

JABEE受審に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

<http://www.fukui-nct.ac.jp>

2 本校の使命

(1) 基本理念

- ・創造性豊かな人材を育成する
- ・幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う
- ・高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う
- ・環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う
- ・地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

(2) 教育方針

1. 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
2. 個性を伸長し、独創的能力の開発に努力する
3. 教養の向上につとめ、良識ある国際人としての成長を期する
4. 健康の増進につとめ、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する
5. 規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る

(3) 本科の学習・教育目標

- RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける
- RB 数学とその他の自然科学、および専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける
- RC 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける
- RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける
- RE 実践的能力と理論的思考能力を身に付ける

(出典 平成24年度学生募集要項, p.12)

「平成25年度編入学生募集要項」



入学案内

1 本校の概要

本校は中学校卒業生を受入れ、早期から5年一貫の技術教育を行い、創造力と実践力とを併せ持つ開発研究型技術者を育成する国立の高等教育機関です。本校では技術教育を行って技術立国を担い日本の未来を拓く有能なエンジニアを養成します。

本校卒業時には「準学士」と称することができます。さらに高度な科学技術の教育と密度の高い研究指導を希望する学生のために、専攻科が設置されており、独立行政法人大学評価・学位授与機構の認定を経て、「学士(工学)」の学位を取得することができます。

本校では「環境生産システム工学」教育プログラムが編成されており、このプログラムを本科4、5年と本校専攻科で履修することにより、社会の要求水準を満たした教育を受けたことが証明されます。現在、このプログラムは平成17年5月に日本技術者教育認定機構(JABEE)より認定を受けました。

2 福井工業高等専門学校の使命

(1) 基本理念

- ・創造性豊かな人材を育成する
- ・幅広い工学的素養、基礎能力及び応用能力の育成を目指す実践教育を行う
- ・高度に情報化した国際社会に対応する教育を行う
- ・環境を意識し、地域社会に根ざしたものづくり教育を行う
- ・地域と連携した産官学共同研究の推進を図る

(2) 教育方針

1. 技術者として必要かつ十分な基礎力と専門技術を習得させる
2. 個性を伸長し、独創的能力の開発に努力する
3. 教養の向上に努め、良識ある国際人としての成長を期する
4. 健康の増進に努め、身体的精神的に強靱な耐久力を育成する
5. 規律ある日常生活に徹し、明朗、闊達な資性の涵養を図る

(3) 養成すべき人材像

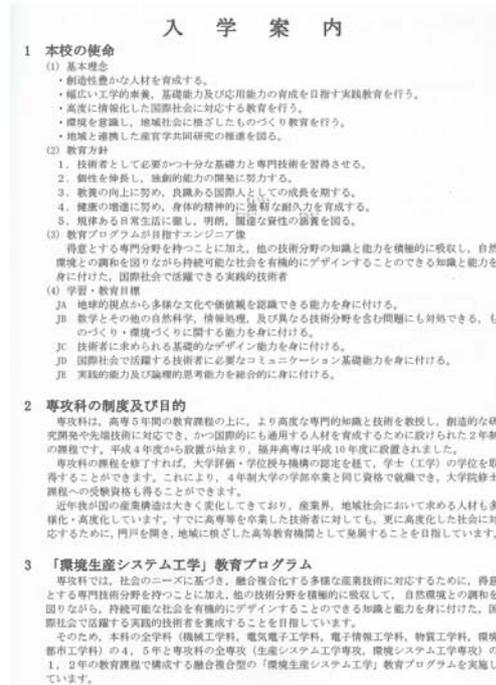
優れた実践力と豊かな創造性を備え、国際社会で活躍できる技術者

(4) 学習・教育目標

- RA 多様な文化や価値観を認識できる能力を身に付ける
- RB 数学とその他の自然科学、及び専門分野におけるものづくり、環境づくりに関する基礎能力を身に付ける
- RC 技術者に必要なデザインマインドを身に付ける
- RD 国際社会で活躍するためのコミュニケーション基礎能力を身に付ける
- RE 実践的能力と理論的思考能力を身に付ける

(出典 平成25年度編入学生募集要項, p.7)

## 「平成25年度専攻科学生募集要項」



(出典 平成25年度専攻科学生募集要項, p.17)

## (分析結果とその根拠理由)

本校ホームページに基本理念、教育方針、養成すべき人材像等の目的を広く社会にも公開している。印刷物である本校要覧や学生募集要項等にもそれらを明記し、県内外中学校等への送付のみならず、進路・入試説明会、中学校訪問時に持参しての説明や、就職関連企業者が求人のために来校した際にも配布し、広く公表している。また、入試広報資料であるパンフレット・リーフレットにも各学科の目的等を記載し、進路・入試説明会や体験入学時に配布するなどを通して、本校の目的は広く社会に対して公表されていると判断する。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

## (優れた点)

本校の基本理念、教育方針、養成すべき人材像、一般科目教室・各学科・各専攻の目的は規則に明確に定められ、アドミッションポリシーとともに本校ホームページ、学校要覧や学生募集要項に掲載し、広く社会にも公表されている。また本校学生には、設定された学習・教育目標と開講科目との対応が容易に理解でき、学習への動機付けを行えるように学習達成度評価シートを用意し、学生自らが定期的に学習・教育目標の達成度を確認するシステムを構築している。

## (改善を要する点)

該当なし。

### (3) 基準1の自己評価の概要

本校は、学則第1条においてその目的を明確に定め、これを核にして基本理念、教育方針、養成すべき人材像、学習・教育目標や、一般科目教室・各学科・各専攻の目的を設定している。基本理念、教育方針そして養成すべき人材像に基づいて設定された学習・教育目標や各学科等の目的は、学校教育法第115条に規定された高等専門学校一般に求められる目的に則ったものになっている。本科と専攻科における学習・教育目標はいずれも5つの大項目から成り、各大項目は判りやすくするために小項目に細分化・具体化されている。本校では、学習・教育目標毎に各学科等での開講科目を配置した学習達成度評価シートを用意しており、学生自らがそれにチェックすることで目標の達成度状況を確認し、能動的に学習に取り組むことができるシステムになっている。さらに、シラバスには一般科目教室と各学科における「目指す能力」、「達成目標」そして「到達目標例」を記載し、学年毎の目標を明確に設け、学生の学習に対する動機付けを行っている。

本校における基本理念、教育方針等の目的の教職員及び学生への周知は、それらが記載されたパネルを教室、実験室、演習室、廊下や図書館等の主要箇所に掲示して行っている。その他、学生に対しては、学級担任や専攻科委員より担当クラス毎に基本理念、教育方針等についての説明会を実施し、各学科等の目的とともに学生便覧にも掲載して周知するとともに、新入生オリエンテーション時にも説明を行っている。教職員に対しては、学生便覧、本校ホームページや新任教職員オリエンテーションを通して、また非常勤講師に対しては「教育課程に関する意見交換会」時に周知している。平成24年4～5月にかけて実施した基本理念、教育方針等の認識度アンケートの調査結果によれば、基本理念、教育方針、養成すべき人材像、本科(準学士課程)の学習・教育目標の、“よく知っている”及び“ある程度知っている”の学生と教職員の回答率はいずれも80%以上であったことから、本校の目的は教職員と学生に周知されているといえる。

社会に対しては、基本理念、教育方針等の目的のほか、一般科目教室・各学科・各専攻の目的等もホームページ、本校要覧や学生募集要項等に記載し、公表している。学校要覧は、就職関連企業からの求人来訪者、研究打合せ等の来校者、インターンシップ先訪問、進路・入試説明会や中学校訪問等でも広く配布し、中学生や中学校関係者には目的とあわせて本校のアドミッションポリシーについても詳細な説明を行っている。さらに、中学生に対しては、本校や学科等の目的の一部を中学生向けにわかりやすい文言で記述した入試広報資料を用意して、体験入学や進路・入試説明会等において配布し、募集要項とともに福井・石川・滋賀県内の中学校にも送付している。このように、本校の目的は広く社会に対しても公表されている。